

2025年1月14日

株式会社ACSL

**ACSL、陸上自衛隊中部方面隊の災害対処訓練「南海レスキュー2024」に参加**

- ACSLは、陸上自衛隊中部方面隊が実施する災害対処訓練「南海レスキュー2024」に参加
- 「南海レスキュー2024」は、南海トラフ巨大地震を見据えて災害対処能力向上を図る大規模訓練
- ACSLは、ドローンによる情報収集と物資輸送の訓練に参加

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役 CEO：鷺谷聡之、以下、ACSL）は、2025年1月13日から1月17日にかけて実施される陸上自衛隊中部方面隊の災害対処訓練「南海レスキュー2024」に参加いたしますので、お知らせいたします。

**■南海レスキュー2024**

「南海レスキュー2024」は、陸上自衛隊中部方面隊が実施する南海トラフ巨大地震を見据えた大規模災害対処訓練です。2023年1月に発生した能登半島地震の教訓等を踏まえ、孤立地域における災発直後の初動対処を焦点とした訓練実施が予定されています。

ACSLは、一般社団法人日本UAS産業振興協議会（JUIDA）の協力要請を基に本訓練に参加いたします。昨年発生した能登半島地震及び能登半島豪雨における災害支援活動において使用実績のある国産小型空撮機体「SOTEN（蒼天）」と物流用最新機体「ACSL式PF4-CAT3型」を用いて、ドローンによる情報収集や物資輸送訓練の実施を予定しております。



国産小型空撮機体「SOTEN（蒼天）」



物流用最新機体 ACSL 式 PF4-CAT3 型

ACSLは、日本のドローン業界をリードするドローンメーカーとして、これまで積み重ねてきたドローンによるレベル3（無人地帯における補助者なし目視外飛行）やレベル4（有人地帯における補助者なし目視外飛行）での現場支援の経験を活かし、災害発生時等の情報提供や物資輸送などの支援を行っていくとともに、災害発生時や防災分野でのドローンの活用を推進してまいります。

【株式会社A C S Lについて】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S Lは、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AIのエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社A C S L 広報担当

Tel : 03-6456-0931 Email : [pr@acsl.co.jp](mailto:pr@acsl.co.jp)

以 上